

平成 23 年度事業報告

特定非営利活動法人連塾

1 事業の成果

本年度の事業、まず地域創生リーダー養成事業としては、地域創生リーダー養成塾「連塾」および地域密着型生涯学習プログラムの開発・推進事業として福寿社会創生活動塾「健塾」を、例年同様それぞれ月例会として合計 12 回開催した。また、本事業の修了生をはじめとして会員による多彩な活動が展開されており、その支援にも取り組んだ。具体的な活動内容としては、日本熊森協会(岡山県支部)、伊部つながりの森(株式会社ハウジング山陽)などの活動を会員が主体的に実施・参加し、法人として人材資源を有効に活用した。

また地域活動の視察として笠岡諸島の北木島での研修会や茨城県北生涯学習センター(NPO法人インパ外)との交流を企画・実施するとともに、毎年2月に山口で開催される「第7回人づくり・地域づくりフォーラム in 山口」にも塾長を筆頭に塾生5名が4年連続して参加した。

次に地域創生推進支援事業としては、作年に引き続き「第3回地域創生フォーラム」を12月11日に開催した。今回は、東日本大震災復旧・復興支援をメインテーマとし、午前の部では6名の会員による実践報告を行い、午後からは、県下の各団体・組織の代表者4名のパネリストを迎え「震災後の今、人との“連(つな)がり”の再生を！」をテーマにしたシンポジウムという内容であった。参加者は52名と昨年を下回ったが、内容的には非常に充実していた。来年度に向けては、本活動の広報・告知方法を改善し、より多くの参加者を募ることが課題として残された。

地域創生ネットワーク構築事業としては、昨年より創作した「赤色・青色うどん」を用いた「桃太郎鍋うどん」の街頭販売普及活動にも継続して取り組んだ。また、月1回開催した「京山地域創生協議会」では、京山地域にある施設(池田動物園、他)と各種団体(NPO法人連塾、ESD推進協議会、町内会、他)が協働して取り組む「京山アクティブ・カルチャー計画」を協議し、岡山県が実施する「新しい公共の場づくり」事業に応募するための準備を行った。

地域創生に関する調査研究事業としては、「英語教育一貫カリキュラム開発研究会」が年3回小学生を対象にした「一日留学体験」を開催した。1回目は10月30日に岡山市立少年自然の家(日応寺)を会場に「英語で遊ぼう in 少年自然の家」を開催し、英語の好きな小学校高学年児童24名が参加し、英語を話して遊ぶ活動を楽しんだ。2回目は11月3日に株式会社おもちゃ王国の協賛を得て、子どもたちが英語で外国人との交流する「一日留学体験 in おもちゃ王国」を開催し、小学生約200名の参加があった。最初に簡単な挨拶・英会話を学習した後、フードコートに設けられた10ヶ国の外国ブースを周り、英語での自己紹介や各国の文化にふれて、英語に親しむことができた。3回目は、2月4・5日に岡山市立犬島自然の家において、初めて1泊2日の事業「一日留学体験 in 犬島」を開催した。この事業においては、岡山市教育委員会との共催という形で実施することができた。犬島の施設を生かした星空観察やキャンドルサービス、英語によるドラマ体験など参加した34名の児童から大変好評を得た。

次年度については、連塾で育った「地域リーダー」の実践の場として、また、地域における児童健全育成事業として「連塾寺子屋」活動を企画・立案し、「備前県民局協働提案事業」に応募したところ、プレゼンテーションの結果、採択された。今後の連塾活動の大きな目玉事業となることが期待される。

今後も、月例会の充実を図り、より実践的リーダー養成を充実させる。一方で、地域創生のネットワークをさらに広げ、修了会員を主体的に参画させることを組織的に取り組む。その際、ホームページにおける広報の強化充実は不可欠で、定期的な更新をはじめ、各活動の動画配信などを積極的に行うこととする。